

## 釧路湿原自然再生協議会が報道関係者を対象とした現地説明会を開催

10月22日(水)、釧路湿原自然再生協議会が取り組んでいる自然再生事業の報道関係者を対象とした現地説明会が開催されました。この現地説明会は、報道関係者に釧路湿原自然再生協議会での議論の経緯を踏まえた適切な情報提供を行うとともに、現地説明会の開催を通じて報道関係者との交流を深め、相互の信頼関係を構築することを目的に、平成18年度から行われています。

今回の説明会には、新聞社・テレビ局等5社から6名の参加があり、協議会からは辻井達一会長、神田房行旧川復元小委員長（北海道教育大学教授）、事務局からは北海道開発局釧路開発建設部、環境省釧路自然環境事務所、北海道釧路土木現業所及び当センターから担当者が出席しました。

今回の説明会では、土砂流入対策（沈砂池）実施計画箇所（雪裡・幌呂地区）、久著呂川土砂流入対策箇所（中久著呂地区）、茅沼地区旧川復元実施計画箇所の3箇所について、現地を訪れ事業の実施状況を確認しながら行われました。環境省が行う達古武地区自然再生事業実施箇所、林野庁が行う雷別地区自然再生事業実施箇所については、バスの車中で概要説明を行いました。

報道関係者からは、辻井会長や事務局に対して、釧路湿原が直面する様々な問題点や各自然再生事業の意義などについて質問が飛び、有意義な説明会となりました。



土砂流入対策（沈砂池）実施計画箇所



茅沼地区旧川復元実施計画箇所



久著呂川土砂流入対策箇所